

## 第2回

### 資料3

1	配置や定員、再編統合にかかる具体的な検討	・・・1
2	普職比率と学科別募集定員の推移	・・・2
3	県立高校（全日制）学区別学科状況	・・・3
4	学科別志願状況と欠員状況	・・・7
5	職業系専門学科卒業生の進路状況	・・・9
6	視察報告（農業科、工業科）	・・・13
7	学科・コースの見直しに関する検討の視点	・・・17

# 1 配置や定員、再編統合にかかる具体的な検討

※『令和の魅力と活力ある県立高校のあり方等に関する報告書』（令和5年5月）より

## 1 普通系学科

普通科及び普通科コース	探究科学科	国際科
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の普通科改革の動向にも注視しつつ、<u>普通科の魅力化・特色化をさらに進めるため、学科やコースの設置など</u>についての検討</li> <li>・中学校卒業予定者数の減少に対応しつつ、生徒のニーズ等を踏まえた配置バランスや定員設定等についての検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校卒業予定者数の減少に対応しつつ、生徒のニーズ等を踏まえた配置バランスや定員設定等についての検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校卒業予定者数の減少に対応しつつ、生徒のニーズ等を踏まえた配置バランスや定員設定等についての検討</li> </ul>

## 2 総合学科

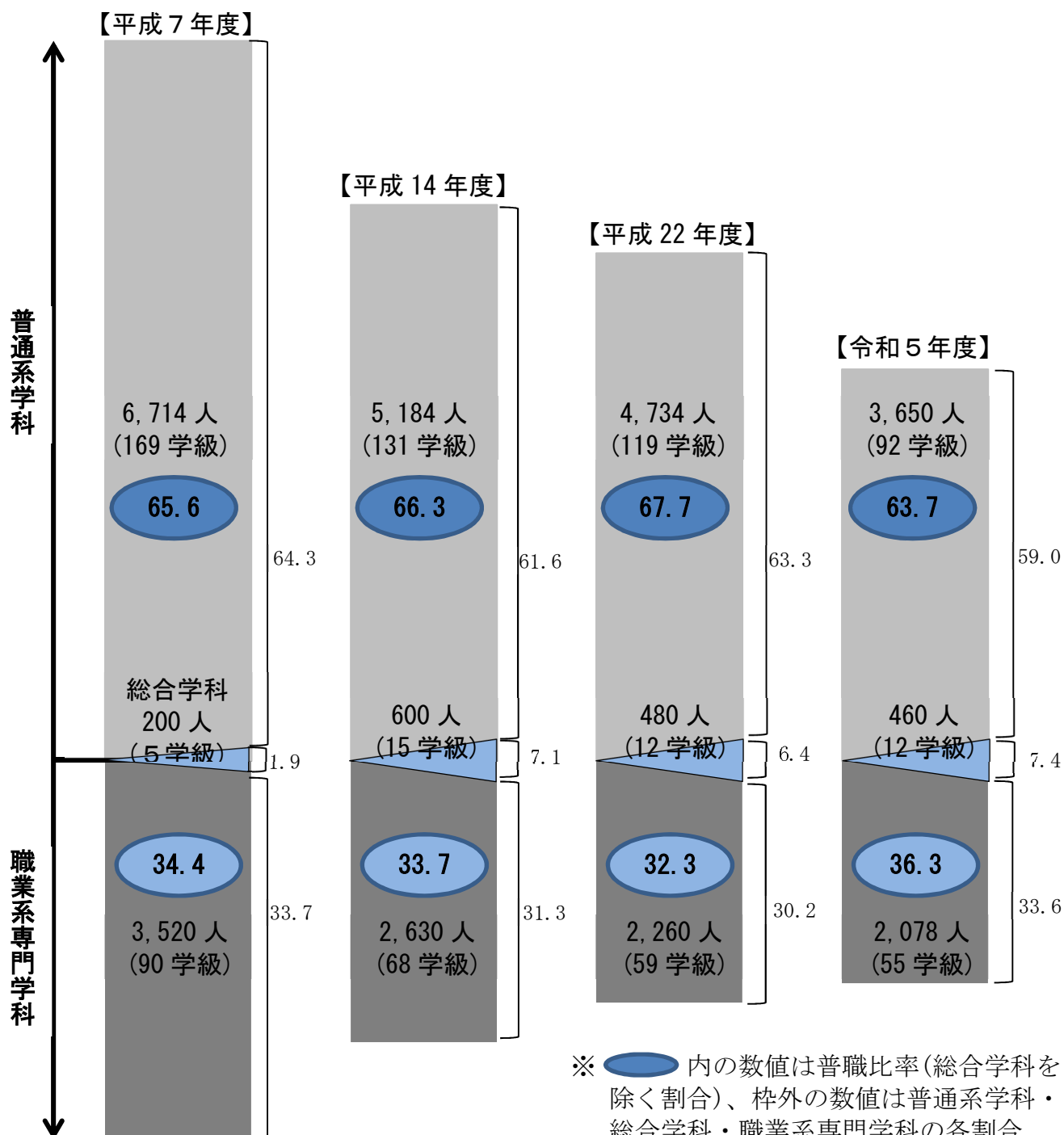
総合学科
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全県的な視野に立って、総合学科のある学校の配置バランス、定員設定等の検討</li> </ul>

## 3 職業系専門学科

農業科	水産科	工業科
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校卒業予定者数の減少に対応しつつ、生徒、産業界のニーズ等を踏まえた配置バランスや定員設定等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校卒業予定者数の減少に対応しつつ、生徒、産業界のニーズ等を踏まえた配置バランスや定員設定等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>社会の変化に応じた新たな学科やコースへの改編</u>などについての検討</li> <li>・中学校卒業予定者数の減少に対応しつつ、生徒、産業界のニーズ等を踏まえた配置バランスや定員設定等の検討</li> </ul>
商業科	家庭科	看護科
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>社会の変化に応じた新たな学科やコースへの改編</u>などについての検討</li> <li>・中学校卒業予定者数の減少に対応しつつ、生徒、産業界のニーズ等を踏まえた配置バランスや定員設定等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>社会の変化に応じた新たな学科やコースへの改編</u>などについての検討</li> <li>・中学校卒業予定者数の減少に対応しつつ、生徒、産業界のニーズ等を踏まえた配置バランスや定員設定等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の高等教育機関において、看護教育課程が整備されていることも勘案した定員設定の検討</li> </ul>
		福祉科
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の高等教育機関において、介護福祉教育課程が整備されていることも勘案した定員設定の検討</li> </ul>

## 2 普職比率と学科別募集定員の推移

	平成7年度	平成14年度	平成22年度	令和5年度
中卒予定者数	14,342人	11,743人	10,539人	8,752人
<募集定員>	<10,434人>	<8,414人>	<7,474人>	<6,188人>
学校数	45校	43校	38校	34校
学級数	264学級	214学級	190学級	159学級

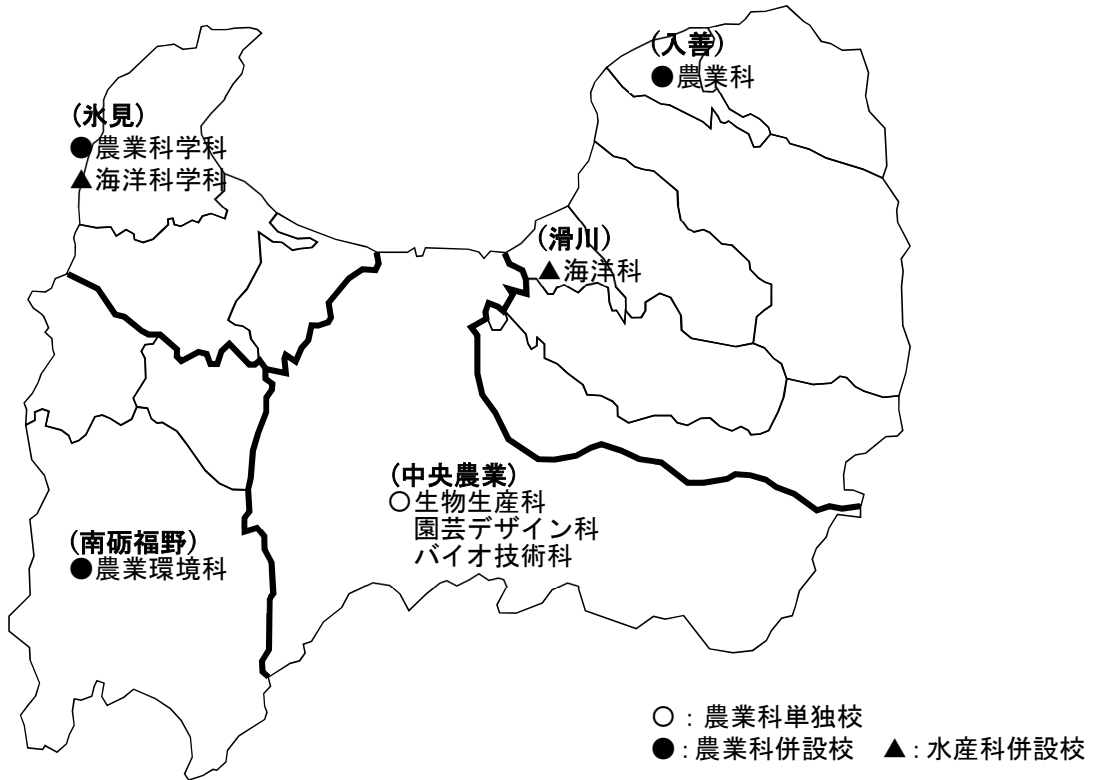


※ 内の数値は普職比率(総合学科を除く割合)、枠外の数値は普通系学科・総合学科・職業系専門学科の各割合(%)を示す。

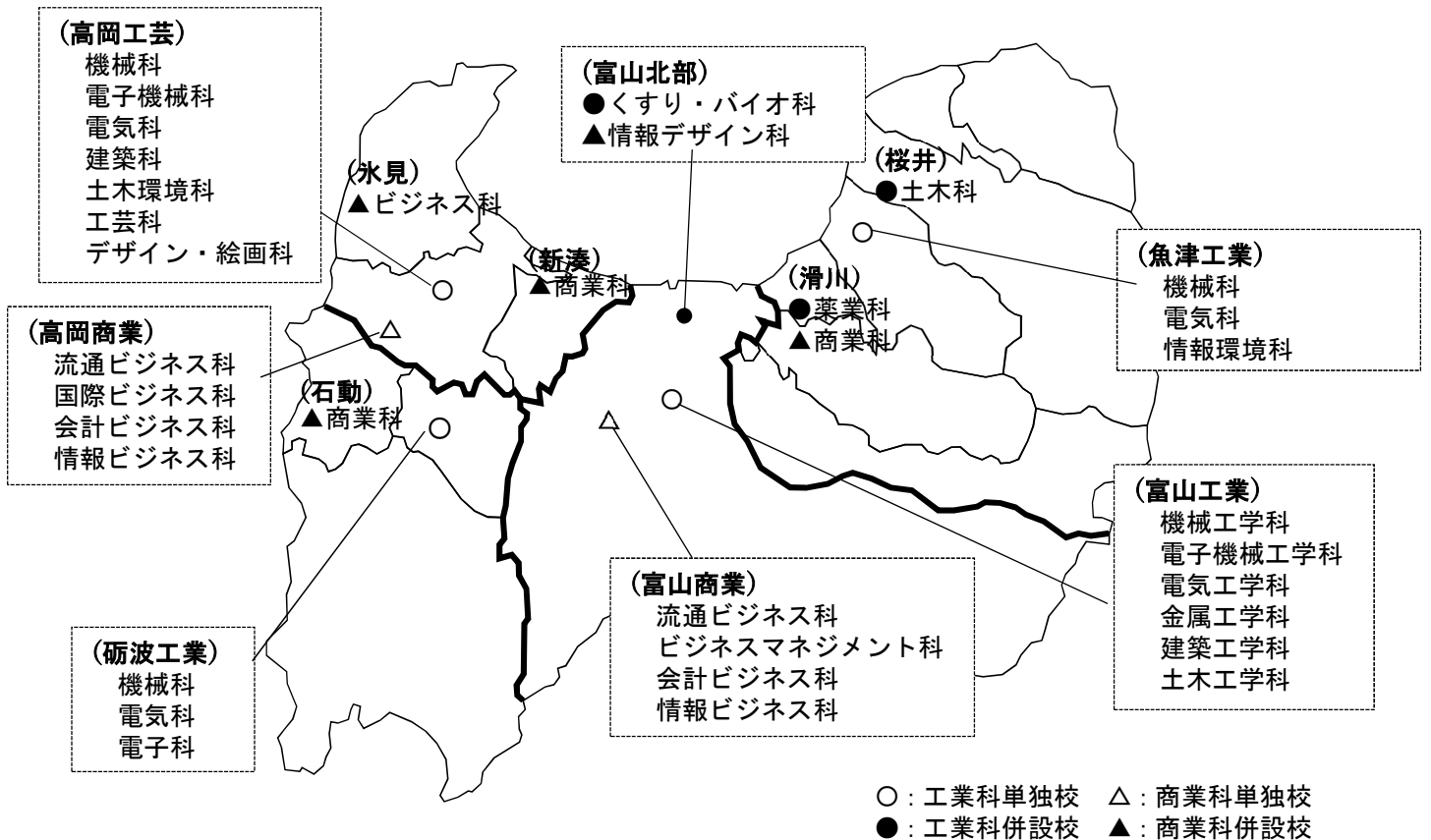
※ 模式図であり、定員数と割合の大きさに相関はない。

### 3-1 県立高校(全日制)学区別学科状況(配置)

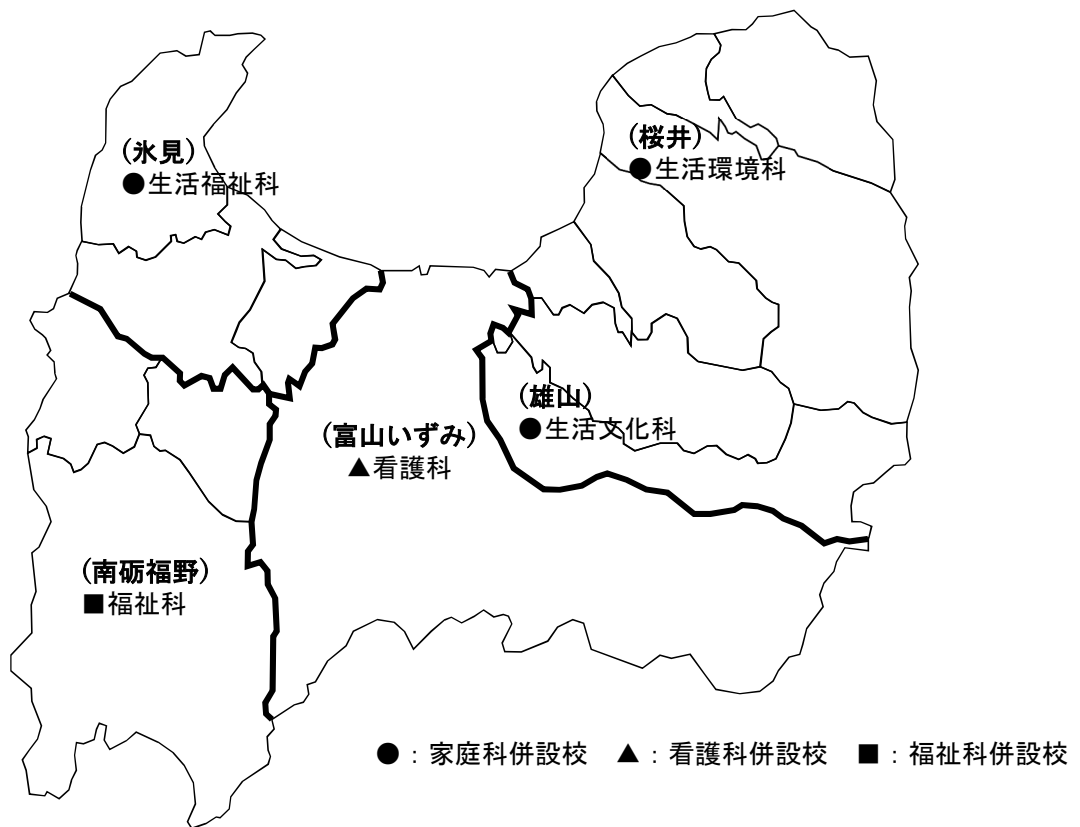
#### ○農業科・水産科



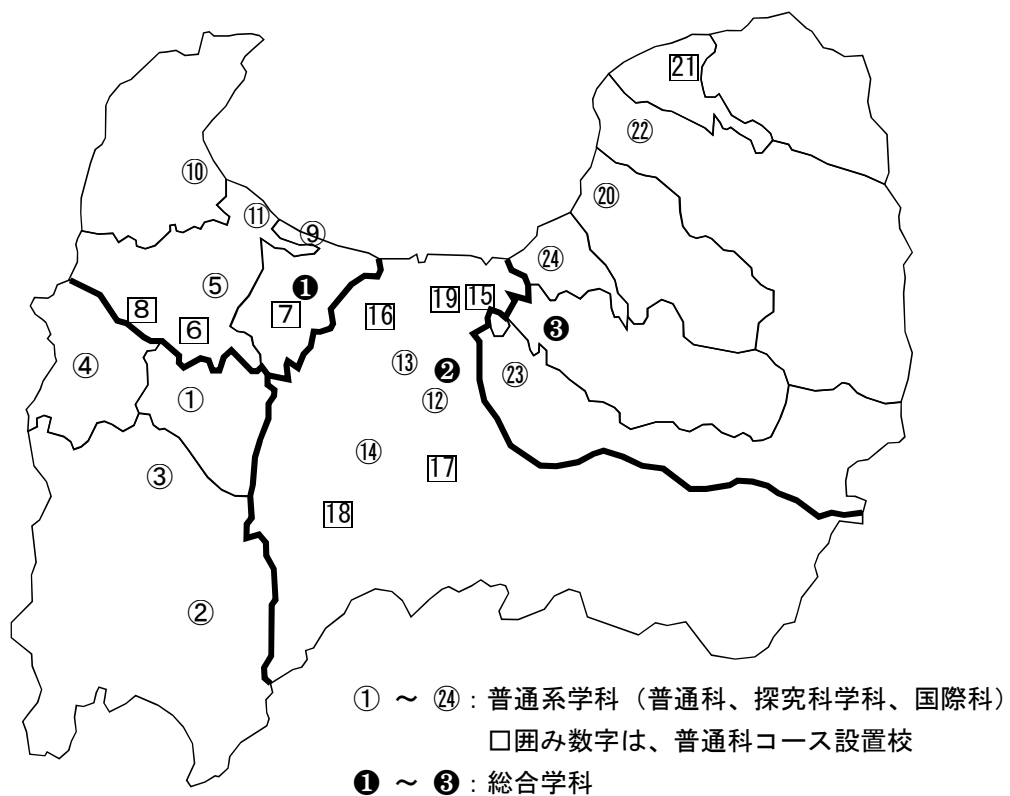
#### ○工業科・商業科



○家庭科・看護科・福祉科



○普通系学科・総合学科



### 3-2 県立高校(全日制)学区別学科状況(募集定員等)

#### ○職業系専門学科設置校

学 科	砺波学区	高岡学区	富山学区	新川学区
農業科	南砺福野(30)	氷 見(20)	中央農業(76)※	入 善(30)
水産科		氷 見(20)		滑 川(40)
工業科	砺波工業(140)※	高岡工芸(270)※	富山工業(320)※ 富山北部(80)	魚津工業(105)※ 桜 井(40) 滑 川(40)
商業科	石 動(40)	高岡商業(200)※ 新 湊(40) 氷 見(40)	富山商業(240)※ 富山北部(40)	滑 川(40)
家庭科		氷 見(40)		桜 井(40) 雄 山(40)
看護科			富山いずみ(40)	
福祉科	南砺福野(30)			

※は、職業科単独校

( ) 内は令和6年度募集定員

#### ○系統別小学科設置状況(工業科)

学 区	砺波学区	高岡学区	富山学区	新川学区
高 校	砺波工業○	高岡工芸○	富山工業○ 富山北部●	魚津工業○ 桜 井● 滑 川●
機械系	○	○	○	○
電気・電子系	○	○	○	○
土木・建築系	—	○	○	●(桜井)
化学・薬業系	—	○	●	○●(滑川)
工芸・デザイン系	—	○	—	—

#### ○普通科コース設置状況

砺波学区	高岡学区	富山学区	新川学区
	大 門(情報) 高 岡 南(人文科学) 福 岡(英語)	八 尾(福祉) 富山北部(体育) 富 山 東(自然科学) 富 山 南(国際) 呉 羽(音楽)	入善(自然科学) (観光ビジネス)

# ○学区別・学科別募集定員

大学科	学級数	定員	小学校	砺波学区			高岡学区			富山学区			新川学区					
				学校	学級数	定員	学校	学級数	定員	学校	学級数	定員	学校	学級数	定員			
普通系学科	普通	82	3,240	砺波 南砺福野 石動 南砺平	4 4 3 1	160 160 120 30	高岡 高岡南 大門 新湊 福岡 氷見	4 4 3 3 3 2	160 160 120 120 120 80	富山東 呉羽 富山南 富山 富山中部 八尾 富山西 富山北部	6 6 5 4 4 4 4 3	240 230 200 160 160 160 160 120	入善 魚津 桜井 雄山 滑川	4 4 3 2 2	140 160 120 80 80			
	理数・英語	6	240	理数科学・ 人文社会科学*			高岡	2	80	富山 富山中部	2 2	80 80						
	国際	4	135	国際 国際交流	南砺福野	1	30	伏木	3	105								
	計	92	3,615			13	500		24	945		40	1,590		15	580		
職業系専門学科	農業	6	156	農業 生物生産 園芸デザイン バイオ技術 農業科学 農業環境							中央農業	3	76	入善	1	30		
				南砺福野	1	30	氷見	1*2	20									
	水産	2	60	海洋 海洋科学										滑川	1	40		
				南砺福野	1	30	氷見	1*2	20									
	工業	26	995	機械	砺波工業	2	70	高岡工芸	1	40					魚津工業	1	35	
				機械工学				高岡工芸	1	40		富山工業	2	80				
				電子機械				高岡工芸	1	40								
				電子機械工学								富山工業	1	40				
				電気	砺波工業	1	35	高岡工芸	1	40					魚津工業	1	35	
				電気工学								富山工業	2	80				
				電子	砺波工業	1	35									魚津工業	1	35
				情報環境														
				金属工学									富山工業	1	40			
				建築						高岡工芸	1	40						
				建築工学									富山工業	1	40			
				工芸						高岡工芸	1	30						
				デザイン・絵画						高岡工芸	1	40						
土木環境						高岡工芸	1	40										
土木													桜井	1	40			
土木工学									富山工業	1	40							
薬業													滑川	1	40			
くすり・バイオ									富山北部	2	80							
商業	16	640	商業	石動	1	40	新湊	1	40					滑川	1	40		
			ビジネス				氷見	1	40									
			流通ビジネス				高岡商業	2	80	富山商業	2	80						
			国際ビジネス				高岡商業	1	40									
			ビジネスマネジメント								富山商業	1	40					
			会計ビジネス						高岡商業	1	40	富山商業	1	40				
			情報ビジネス						高岡商業	1	40	富山商業	2	80				
			情報デザイン								富山北部	1	40					
家庭	3	120	生活環境										桜井	1	40			
			生活文化											雄山	1	40		
生活福祉						氷見	1	40										
看護	1	40	看護						富山いづみ	1	40							
福祉	1	30	福祉	南砺福野	1	30												
計	55	2,041			7	240		17	630		21	796		10	375			
総合学科	総合	12	450				小杉	4	150	富山いづみ	4	150	上市	4	150			
	計	12	450		-	-		4	150		4	150		4	150			
総計	159	6,106			20	740		45	1,725		65	2,536		29	1,105			

「令和6年度富山県立学校募集定員等」(R5.7発表)による

\*1 理数科学科と人文社会科学科は、探究科学科と総称している  
 \*2 氷見高校の農業科学科と海洋科学科は、農業と水産のそれぞれに1学級として集計

## 4 学科別志願状況と欠員状況

学 科	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		<参考> R5募集定員
	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	
普通科	1.06	11	1.05	18	1.11	13	1.10		1.04	20	1.02	36	0.99	14	0.99	31	0.98	65	1.01	39	3,260
探究科学科	0.92		1.08		1.26		1.51		1.86		1.91		2.13		2.00		1.75		1.65		240
国際科	1.18	1	1.14		0.96	6	1.10		0.98	8	0.96	6	0.68		0.88		0.84	5	0.55	37	150
農業科	1.23		1.00	12	1.21		0.89	21	0.80	32	0.72	31	0.76	44	0.76	55	0.72	33	0.81	47	158
水産科	2.33		1.86		1.58		1.39	1	1.19		1.46		1.56		0.93	3	1.15	2	0.81	12	60
工業科	1.39		1.34		1.33	1	1.26		1.23		1.24		1.30	22	0.99	54	1.10	54	0.85	99	1,030
商業科	1.36		1.25		1.20		1.14		1.33		1.24		0.95	2	1.21	1	0.97	8	1.12	4	640
家庭科	1.56		1.04		1.62		1.04		1.00		1.28	1	0.92	3	1.16	1	0.88	11	1.20		120
看護科	0.85		1.75		1.19		1.13		1.38		2.00		0.84	3	1.38		1.17		1.27		40
福祉科	1.00		1.50		0.75		1.13		1.40		0.80		0.53		1.20		1.27		1.40		30
総合学科	1.19		1.51		1.09		1.42		1.42		1.14		1.07	4	1.47		1.28	14	1.10	10	460
合 計	1.14	12	1.14	30	1.15	20	1.15	22	1.14	60	1.11	74	1.07	92	1.07	145	1.04	192	1.02	248	6,188

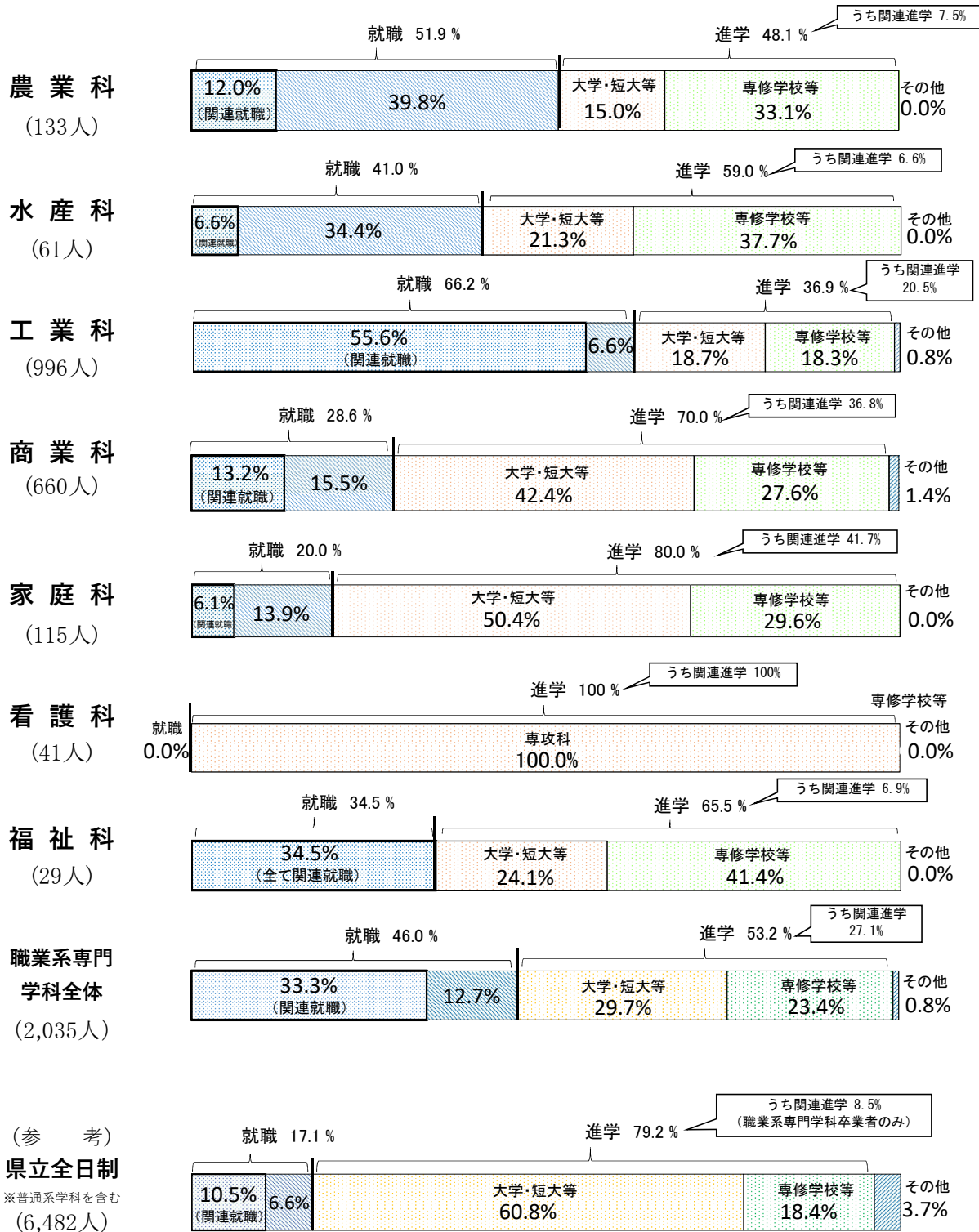


このページは資料の見やすさを考慮して  
空白ページとしています。

## 5-1 職業系専門学科卒業生の進路状況

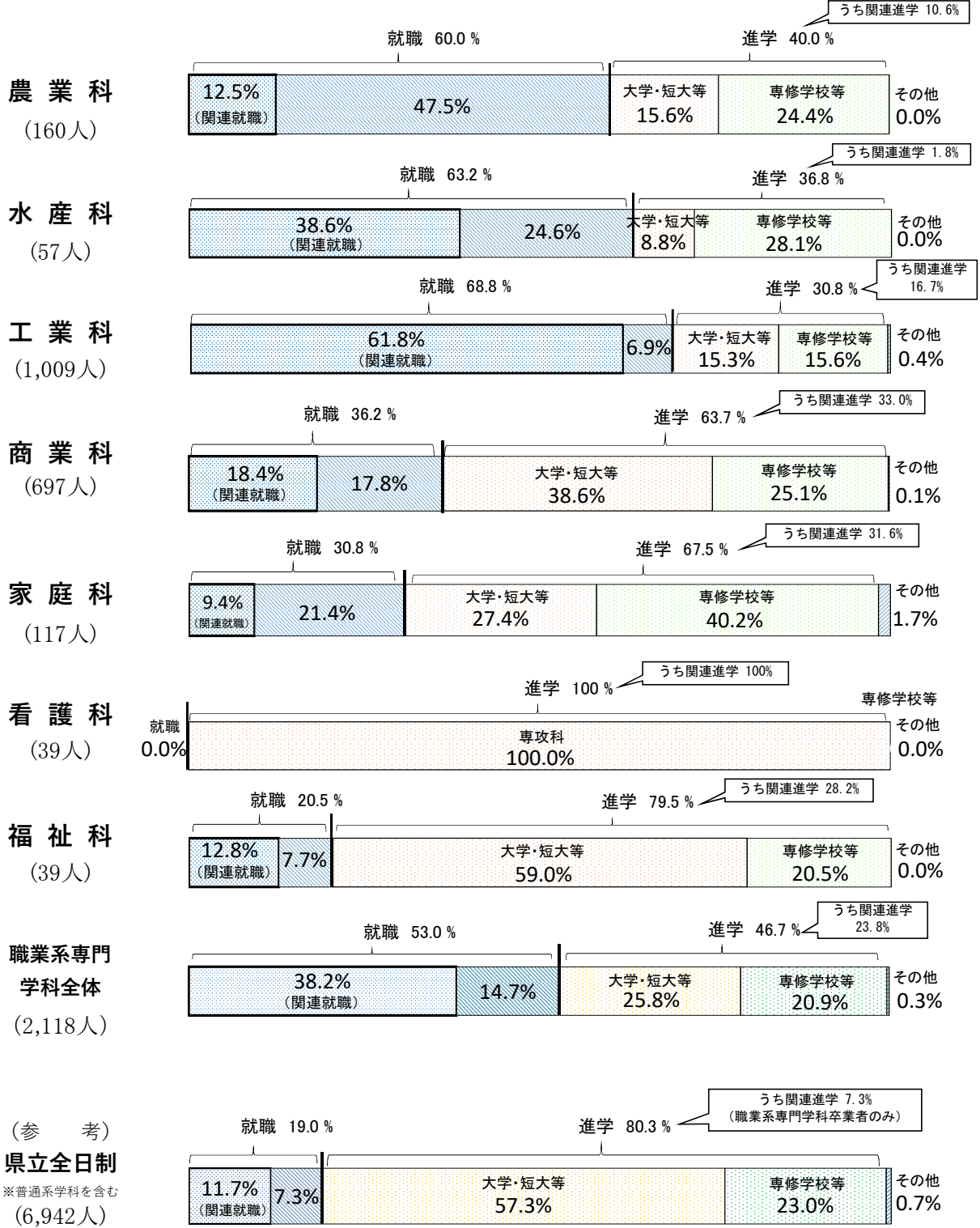
「関連就職」は、学校基本調査の付帯調査（各年5月1日現在）において、生徒が在籍していた小学科と関連のある職務に就いた者として回答のあった数をもとに作成したもの

令和4年3月 県立全日制高校卒業生 ( )内は各学科の卒業生数



※関連就職は職業系専門学科卒業者のみ

平成26年3月 県立全日制高校卒業生 ( )内は各学科の卒業生数



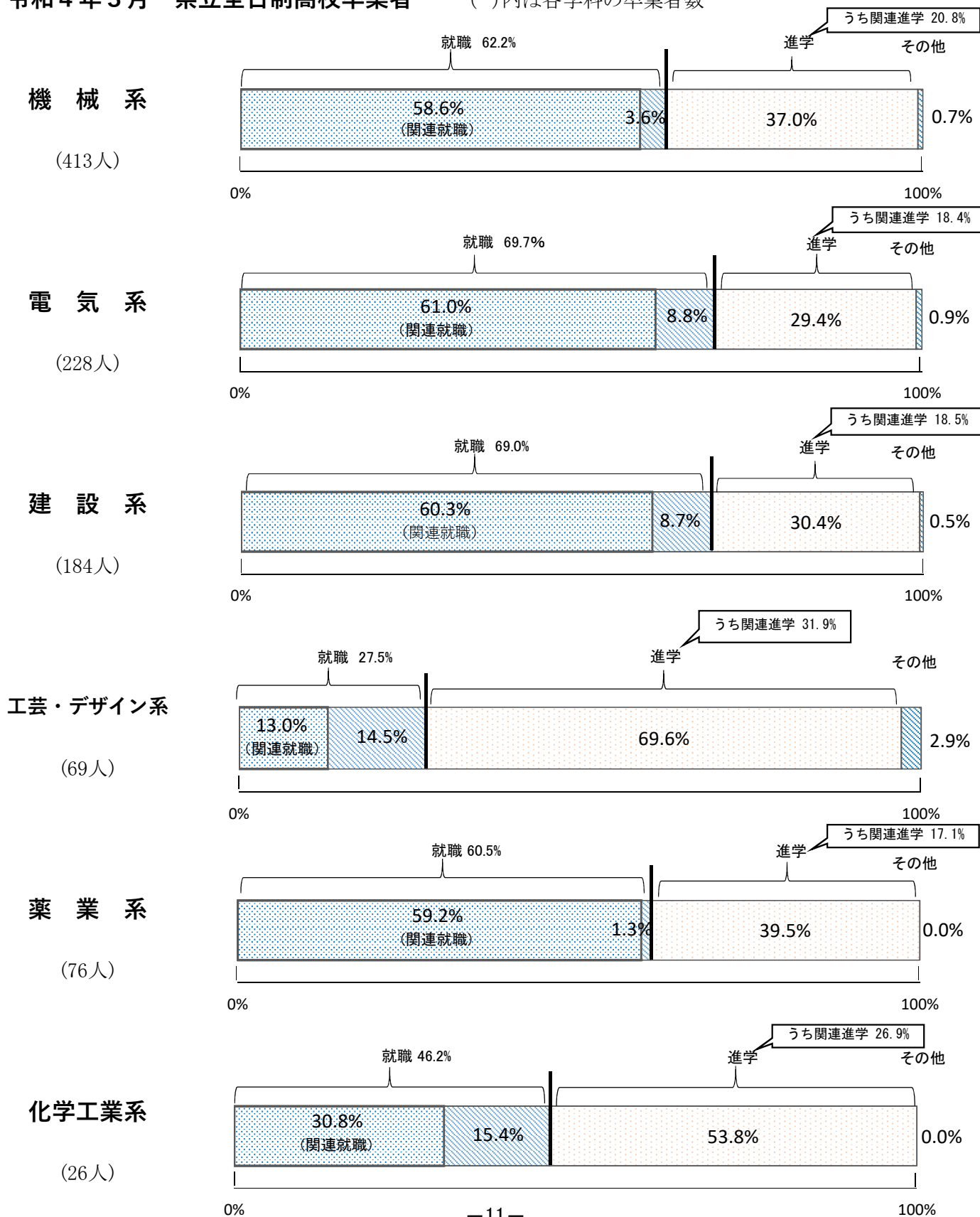
※関連就職は職業系専門学科卒業者のみ

## 5-2 工業科卒業生の進路状況

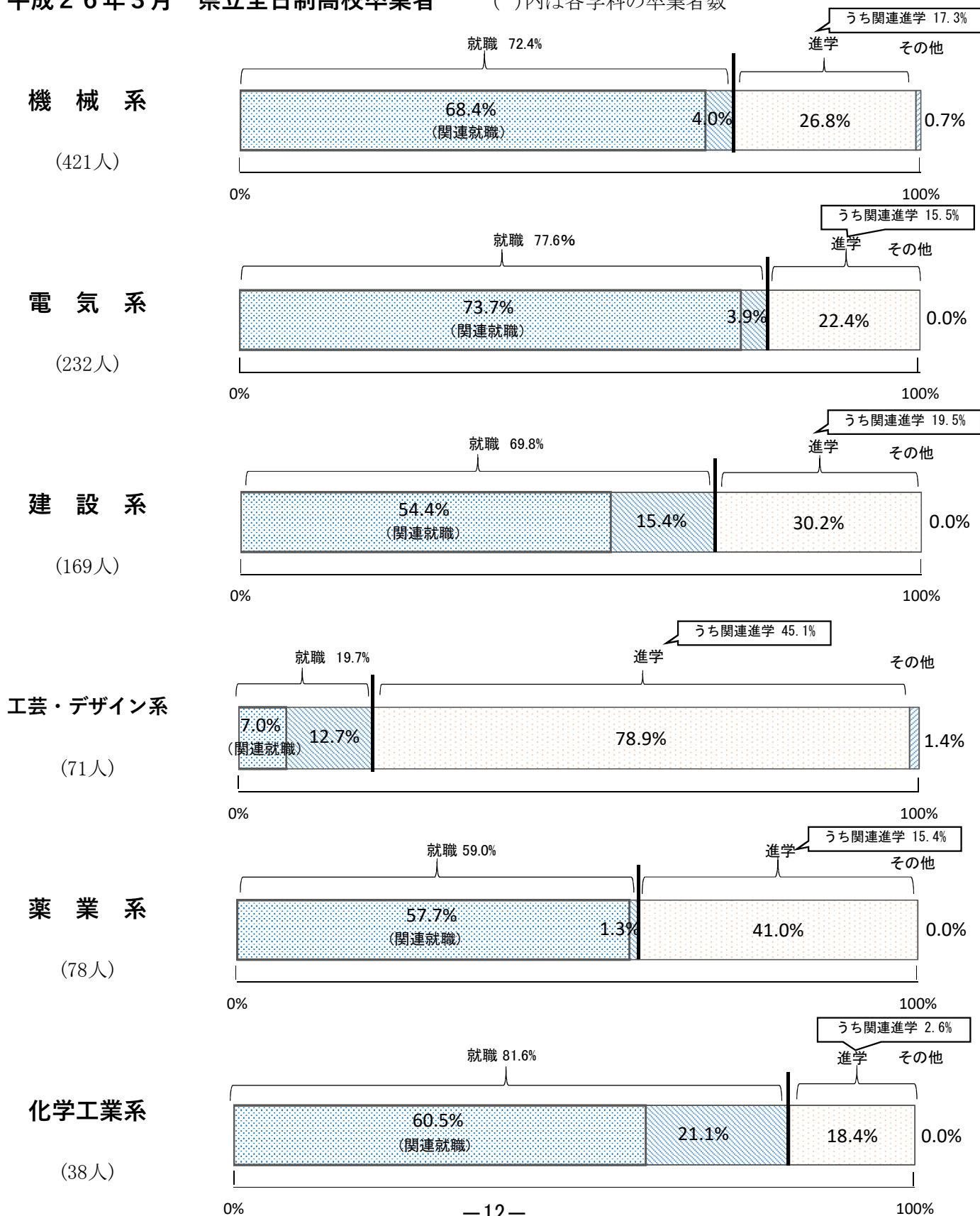
「関連就職」は、学校基本調査の付帯調査（各年5月1日現在）において、生徒が在籍していた小学科と関連のある職務に就いた者として回答のあった数をもとに作成したものである。

また、「進学」は、大学・短期大学・専攻科・専修学校などに入学した者をいう。

令和4年3月 県立全日制高校卒業生 ( )内は各学科の卒業生数



平成26年3月 県立全日制高校卒業者 ( )内は各学科の卒業生数





## 6 視察報告

### ～ 農業科 ～

#### 【石川県立翠星高等学校】

##### ①学校概要

- ・ 1 学年 1 学科 4 学級（定員 160 名）
- ・ 平成 12 年 校名変更（松任農業 ⇒ 翠星）  
学科改編（5 学科：生物生産科、園芸科学科等 ⇒ 総合グリーン学科）
- ・ 平成 28 年 コース改編（5 コース ⇒ 3 コース 6 分野）  
〔 生物資源（農学、生物工学、生物活用）  
食品科学（食品）、環境科学（環境設計、造園） 〕
- ・ 合格者数 R5：136 人（石川県教育委員会公表資料より）

##### ②特色ある取組み

- ・ 一括募集で入学。2 年進級時に選択した 3 コース 6 分野（上記のとおり）に分かれ、より専門的な知識、技術・技能を学ぶ。

##### <農業クラブ活動>

- ・ 日本学校農業クラブの全国大会のプロジェクト発表において最優秀賞や文部科学大臣賞を受賞するなど、著しい実績をあげている。
- ・ プロジェクト発表や意見発表に関わる活動については、部活動や授業（「農業と環境」、「課題研究」）で対応している。

##### <PR 活動>

- ・ 学校内の活動については、ホームページ、YouTube、新聞などで情報発信しており、地域や中学生に周知している。
- ・ 特色ある活動について、学校から外部へ情報発信しながら、外部からも多くの依頼が来る。

##### <HACCP の導入>

- ・ 全国的に HACCP※第三者認証のある農業高校は大変珍しい。  
※HACCP とは食品製造事業者を対象とした JFS 規格



##### <食品科学コースの特色ある活動>

- ・ 令和 3 年からイオンモール白山と連携協定を結んでいる。（HACCP の第三者認証）
- ・ 白山市地産地消課の事業として、白山市内の素材を使った加工品開発で地域活性化をしたり、レシピを市内のお菓子屋などの業者に提供したりする活動に協力している。
- ・ パン検定やジャム検定などの独自の検定を実施し、理解力や技術力を高める尺度としている。また、コンテストに参加したり、直売所で販売するパンをつくったりしている。

##### ③施設設備等

- ・ パン実習室や食品製造実習室などがある食品科学棟では、HACCP に沿った衛生管理の下で授業が行われている。
- ・ ピュアマーケットという生産物、パンなどの加工品、花を販売する直売所がある。週 1 回 1 時間の営業で、生物資源コース農学分野 3 年生が、販売実習をしている。
- ・ 軽トラックの荷台で運ぶことができる移動式無人販売所を作製し、実際に敷地内に設置して商品販売をしている。



(パン実習室)

##### ④成果と課題

- ・ 取組みについての情報発信も積極的に行っているため、地域や中学生に農業高校の特色を知ってもらえていることが成果である。中学校からの反応も良い。
- ・ コース別の生徒の振り分けにはかなり配慮している。先生方には、担当外のコースや分野にも協力してもらわなければならない課題がある。

## ～ 工業科 ～

### 【愛知県立豊田工科高等学校】

#### ①学校概要

- ・ 1 学年 4 学科 6 学級（定員 240 名）（I T 工学科、機械科、自動車科、電子工学科）
- ・ 令和 3 年 校名変更（豊田工業 ⇒ 豊田工科）  
学科改編（電子機械科⇒ I T 工学科）  
コース改編（電子工学科に生活コースを新設）
- ・ 合格者数 R5：240 人、R4：194 人、R3：240 人（愛知県教育委員会公表資料より）

#### ②特色ある取組み

- ・ 一括募集で入学。2 年進級時に選択した 4 学科（I T 工、機械、自動車、電子工）に分かれ、より専門的な知識、技術・技能を学ぶ。
- ・ 就職を希望する生徒が多い。卒業生の 8 割が就職。地元大手企業から求人多数。

#### ③施設設備等

- ・ 令和 3 年度の学科改編にあたり、専門実習の充実を図るため教材を新規購入。
- ・ 自動車科の実習のため、トヨタ自動車よりスポーツカー 6 台程度の無償提供あり。



#### ④成果と課題

##### <一括募集について>

- ・ 導入前、中学校側から「全学科一括募集」に対する切実な要望があった。出願の際、中学 3 年生に学科まで決定させることは難しい。

##### <選科について>

- ・ 入学後 1 年間は共通の教育課程で工業の基礎科目（機械系科目、電気系科目、製図、情報など）を幅広く学ぶ。
- ・ 2 学年から学科別のクラス編成とし、学科の専門科目の学習を始める。
- ・ 選科時、各学科の定員に対して生徒の希望に偏りが生じた場合は、生徒と粘り強く話し合うことでうまく調整できている。

### 【参考】愛知県における工業科学科改変等（2019 年 11 月 25 日愛知県教育委員会公表資料より抜粋）

#### (1) 新たな学科・コースの創設

旧学科	新学科	対象校数
応用化学科、電子情報科、機械加工科	理工科に統合新設	1 校
電気科または電子機械科	I T 工学科と電気科に分離新設 (電子機械科は I T 工学科として新設)	4 校
化学工業科または環境工学科	環境科学科として新設	4 校
電子機械科	ロボット工学科に改編 (2 校はロボット工学科と機械科に分離改編)	6 校

#### ※生活コース新設（8 校）

モノづくり企業で活躍している女性から直接指導を受けるとともに、全学年を通して生活に関連する科目を履修し、将来「モノづくり女子」として活躍できる人材、また男女共同参画の視点から、モノづくりをしながら、仕事と生活を両立できる人材を育成する。

#### (2) 学科名の変更

旧学科	新学科	対象校数
情報技術科および情報システム科	情報デザイン科	3 校
建築科	建築デザイン科	5 校
土木科	都市工学科	4 校

## 【愛知県立愛知総合工科高等学校】

### ①学校概要

- ・ 1 学年 7 学科 9 学級（定員 360 名） ※R3 年度の募集定員は 400 人  
（理工科、機械加工科、機械制御科、電気科、電子情報科、建設科、デザイン工学科）
- ・ 平成 28 年 4 月開校（愛知工業と東山工業を統合）、今年度で 8 年目。
- ・ 合格者数 R5：360 人、R4：360 人、R3：394 人（愛知県教育委員会公表資料より）

### ②特色ある取組み

- ・ 「課題研究」では全員が企業や大学等との外部連携を必須としている。
- ・ 一括募集で入学。1 年後期から学科に分かれて専門科目を学ぶ。
- ・ 入学生の 7 割が進学希望。理工学科は「大学進学を目指す」としている。

### ③施設設備等

- ・ 統合前の旧 2 校にあった設備・機械はすべて他の工業高校に移管。同校の開校にあたり、設備・機械はすべて新規に購入した。
- ・ 校舎の新築に 130 億円以上、設備・機械に 20 億円以上（初年度）。
- ・ ものづくりを通して体験的に学ぶことを重んじ、1 クラス 40 名が同時に 1 人 1 台機械加工や溶接、ロボットなど、様々な実習を同時にできるように必要な教材や機器を積極的に導入している。



### ④成果と課題

#### <一括募集について>

- ・ 全 7 学科 9 学級を一括募集（開校前から全学科一括募集が前提）。
- ・ デメリットとして、各学科には定員があるため、生徒が志望する学科に進めない可能性がある。

#### <選科について>

- ・ 実習設備の関係上、生徒の希望を調整して各学科の定員通りに収める必要がある。
- ・ 1 学年の後期（※同校は 3 学期制。10 月の 2 学期中間考査以降）から学科に分かれて学習する。その際のクラス編成は混成のまま、全クラス時間割をそろえて同時展開授業。
- ・ 1 年次、前期（10 月の 2 学期中間考査前）は「工業技術基礎 4 単位」と「工業情報数理 2 単位」を週 12 時間まとめどり。そこで全学科の紹介と体験を行い、選科の参考とする。後期は各学科に分かれて「実習」「製図」「測量」「設計」など各学科で設定された科目 6 単位分を週 12 時間まとめどり。

#### <その他>

- ・ 在籍生徒 男：女=82：18。女子への PR は必須。



## 【新潟県立塩沢商工高等学校】

### ①学校概要

- ・ 1 学年 2 学科 3 学級 (定員 120 名) (地域創造工学科 2 学級、商業科 1 学級)
- ・ 平成 27 年 土木系科目の選択が可能 (平成 26 年度機械システム科入学生)  
令和 2 年 学科改編 (機械システム科 ⇒ 地域創造工学科)
- ・ 入学者数 R5 : 46 人、R4 : 51 人、R3 : 77 人 (新潟県教育委員会公表資料より)
- ・ 建設業への就職者の推移

卒業年度	土木系科目設置前			土木系科目設置後～学科改編前						学科改編後
	H25	H26	H27 <sup>※</sup>	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
就職者数	2	2	8	7	8	6	7	8	11	14

※ 3 年次に土木系のテーマとなる課題研究を実施 (H25 年度入学生)

### ②特色ある取組み

#### ＜地域創造工学科の一括募集＞

- ・ 1 年次に機械・電気・建設分野を学習。2 年進級時に機械システムコースか地域デザインコースに分かれ、より専門的な知識・技術を習得。
- ・ 生徒は希望通りのコースに分かれており、近年の各コース選択者数は、ほぼ半数ずつとなっている。

#### ＜地域の関係団体等との連携＞

- ・ 土木系科目設置から学科改編までは、南魚沼建設業協会や測量設計業協会、国土交通省等と連携した実習を実施。
- ・ 学科改編後は、主に南魚沼建設業協会と連携し、防災教育や仮設道路製作の実習を実施。
- ・ 実習に必要な物資等は、すべて連携団体が負担。



(仮設道路製作実習の様子)

#### ＜校舎の平面図製作＞

- ・ 土木系職員で学校の敷地にポイントを設置し、生徒がそれを基にトランバース測量をし、CADを用いて校舎平面図を作成するという体系化された実習を構築。

### ③施設設備等

- ・ 機械システム科で使用されていた部屋や空いていた普通教室を実習室として転用。機械システムコースとの部屋や機器の共用により、土木系科目を実施。
- ・ トータルステーションを揃え、測量実習ができるように整備。



(野外実習の準備をする部屋に転用)

### ④成果と課題

- ・ 括り募集については、生徒の専門性が弱くなるのではという懸念がある。一方、実際に働いた場合、幅広い知識が必要となるため、様々な分野を学ぶことは生徒にとってマイナスにはなっていない。
- ・ 地域の関係団体との連携実習については、生徒と現場の方が接することでコミュニケーション能力を身に付けることや建設業の重要性を理解することに繋がっている。
- ・ 機械系学科に土木系科目を設定する場合、実習を体系化していくことに課題がある。

## 7 学科・コースの見直しに関する検討の視点

### 1 学科・コースの見直し

- ・各学科の教育活動は、生徒、保護者、産業界のニーズに合っているか。  
(職業系専門学科における志願状況、進学者割合の増加等)
- ・普通科の魅力化・特色化をさらに進めるための学科やコースの設置をどうするか。

### 2 各学科の配置・定員設定等

- ・各学科の募集定員の減少に対応するため、県内における学校、学科の配置をどうするか。
- ・1学科1学級の職業系専門学科をどうするか。

(参考)

令和5年度の中学校卒業予定者数および学科別募集定員に対する割合から令和14年度、令和19年度の学科別募集定員を算出した。

なお、令和5年度の普通科系割合は63.7%であり、これまで目安としてきた66%程度とするためには、さらに職業系専門学科の定員減が必要となる。

※令和5年度の学科別募集定員の割合を維持した場合

高校入学年度	現在(令和5年度)		令和14年度	令和19年度	
中卒予定者数	8,752		7,228	6,207	
<対R5年度割合>	(100.0%)		(82.6%)	(70.9%)	
	募集定員(A)		単純比例推計		
			(A) × 82.6%	(A) × 70.9%	
学科別内訳	農業	4校	158	131 (▲ 27)	112 (▲ 46)
	水産	2校	60	50 (▲ 10)	43 (▲ 17)
	工業	7校	1,030	851 (▲ 179)	730 (▲ 300)
	商業	7校	640	529 (▲ 111)	454 (▲ 186)
	家庭	3校	120	99 (▲ 21)	85 (▲ 35)
	看護	1校	40	33 (▲ 7)	28 (▲ 12)
	福祉	1校	30	25 (▲ 5)	21 (▲ 9)
計	17校	2,078	1,716 (▲ 362)	1,473 (▲ 605)	

( )内は対R5年度比